

保存活用計画策定のための調査内容

1. 調査の視点

- ①建築物と中庭・庭園の基礎的な調査
- ②レーモンドの設計意図を解読するための調査
- ③破損状況調査
- ④旧赤星邸および周辺地域の歴史に関する調査・検証
- ⑤増築改修履歴の整理・検証と復元の検証
- ⑥暮らし方・使い方の変遷の調査
- ⑦活用方針の検討に向けた調査

2. 個別の調査内容・方法

①建築物と中庭・庭園の基礎的な調査

【項目】

- 現況図面の確認、不足している図面の作成

【方法】

- 既存資料の整理、最新状況の現地確認
- 現地確認および図面作成等
 - ・建物：既存の現況図面をもとに、最新の仕様を再確認
 - ・中庭：植栽や石、その他構造物を含めた現況図面を作成
 - ・庭園：測量図や過年度の樹木の健全度診断に用いられたプロット図をもとに、石畳や過去にあった構造物の痕跡などの詳細を追加

②レーモンドの設計意図を解読するための調査

【項目】

- 旧赤星邸の設計図面、竣工時写真、設計に関する記述等の収集・分析
- その他、旧赤星邸に関連するレーモンドの記述等の収集・分析

【方法】

- 書籍や雑誌に掲載された図面、写真、記述のとりまとめ
- レーモンド設計事務所や研究者等への資料・情報提供依頼

③破損状況調査

【項目】

- 建物の破損状況の確認
- 破損の要因の特定と解消方策の検討

【方法】

- 建物の各部分の確認
- 劣化部分の材料・構造や近年の気候などを踏まえた破損要因分析と解消方策の検討

④旧赤星邸および周辺地域の歴史に関する調査・検証

【項目】

- 赤星鉄馬所有以前の地域における土地利用や主要施設などの把握
- 旧赤星邸建築後から現在までの各時代における地域の様子の把握

【方法】

- 各年代の周辺地域の地図や航空写真の収集
- 周辺の施設が所蔵する地域資料の収集
- 各時代の地域における旧赤星鉄馬邸の位置づけや地域に与えた影響の検証

⑤増築改修履歴の整理・検証と復元の検証

【項目】

- ①、②の調査を踏まえた当初および各年代の仕様や様子の把握
- 建造物、家具、眺望の復元検証

【方法】

- 資料、ヒアリングおよび現況調査からの比較検証
- 簡単な復元実験による建造物の復元検証



復元実験の例

- ・後補の塗装を撤去し、当初壁面へ復元することが可能かどうかを簡易検証

⑥暮らし方・使い方の変遷の調査

【項目】

- 赤星家所有時の調査
- 日本軍接收時の調査 ※1944（昭和 19）年頃接收されたとする文献があるため、情報収集する
- GHQ 接收時の調査
- カトリック・ナミュール・ノートルダム修道女会所有時の調査

【方法】

- これまでのヒアリング結果（既往）と他の資料との照合
- 当時の郊外住宅の暮らしに関する既往研究の確認
- 日本軍接收に関する情報収集
- GHQ 接收時代の改修状況をもとにした分析
- 公文書などによる赤星鉄馬の寄付等記録の確認
- 修道女会所蔵の写真・記録の確認、当時を知る方へのヒアリング

⑦活用方針の検討に向けた調査

【項目】

- 関係法令等、基本的な前提条件の整理
- 事例収集（利活用・運営）

【方法】

- 現存するレーモンドの建造物の活用事例の収集
- 文化財を活用して地域の魅力を向上させる取り組み事例の収集
- 公民連携を含めた施設管理・運用に関する事例収集・情報の整理
- 関係者へのヒアリング等（必要に応じて）